

汚水又は廃液に係る特定施設構造等変更届出書の記入例

特定施設構造等変更届出書

令和〇年〇月〇日

富山県知事 〇〇 〇〇 殿
市町村長 〇〇 〇〇 殿

届出者 住所〒〇〇〇-〇〇〇〇
〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号
氏名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

富山県公害防止条例第11条第1項の規定により、特定施設（騒音に係る特定施設を除く。）の構造（特定施設の使用の方法、ばい煙等（騒音を除く。）の処理の方法）の変更について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	〇〇株式会社 〇〇工場 (電話番号) 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	※ 市町村受理 年 月 日	年 月 日
工場又は事業場の所在地	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号 (郵便番号)〒〇〇〇-〇〇〇〇	※ 受理年月日	年 月 日
公害防止のための管理責任者職氏名	公害防止統括者 〇〇 〇〇	※ 前回届出番号	第 号
常時使用する従業員数	117人	※ 整理番号	
特定施設の種別	7-(3) 分離施設	※ 施設番号	
△ 特定施設の構造	別紙のとおり	備考	
△ 特定施設使用の方法	別紙のとおり	※	
△ ばい煙等(騒音を除く。)の処理の方法	別紙のとおり		
変更予定年月日及び変更の理由	令和〇年〇月〇日 老朽化のため		
※ 市町村長の意見又は審査結果			

注意点

- これは特定施設の構造及び使用の方法又は処理の方法を変更する場合の記入例です。
- 届出書は各区分（下記を参照）ごとに作成してください。

様式第1号：特定施設設置届（全ての区分で共通）
 別紙1～3：ばい煙に係る特定施設
 別紙4～5：粉じん又は有害ガスに係る特定施設
 別紙6～8：汚水又は廃液に係る特定施設
 別紙9：悪臭に係る特定施設

- 特定施設の着手予定日の60日前までに届け出てください。
- (すでに着手している場合やこれより期間が短くなる場合は相談してください。)

年号又は西暦（西暦は4桁）で記入する。

届出者又は代表者の氏名等を記入する。
 (代表権のないもの(例えば工場長)が届出をする場合は、
 ①代表者と工場長を連名で記入（委任状不要）
 または
 ②工場長を記入し、委任状（写し可）を添付
 ※ 届出書・委任状ともに押印は不要

特定施設設置工場又は事業場の名称を記入する。

該当する特定施設の項番号及び名称を記入する。(施行規則 別表第1の3参照)

構造等を変更した理由を具体的に記入する。(記入例：製造工程の変更のため、特定施設が故障したため等)

備考 1 ※印欄には、記載しないこと。
 2 △印欄の「別紙」については、様式第1号の備考第2項の表の区分に応じた書類によること。
 3 別紙の変更のある場合については、変更前及び変更後の内容を対照させて記載すること。

汚水又は廃液に係る特定施設の種類及び構造

変更する項目について、変更前及び変更後の内容を対照させる。
 [左欄] 変更前として、設置届（過去に変更届を提出した場合は、直近の変更届）の内容を転記する。
 [右欄] 変更後として、今回変更する項目についてのみ記入する。

	(変更前)	(変更後)	
汚水又は廃液に係る特定施設の種類	7-(3) 分離施設	同左 ←	該当する特定施設の項番号及び名称を記入する。(施行規則 別表第1の3参照)
工場又は事業場における施設番号	分液槽-001	同左 ←	当該工場又は事業場で当該特定施設を特定するために用いる番号、名称等を記入する。
基数	1基	同左	
名称及び型式	分液槽 〇〇社製 BUNEKISO_01	同左 ←	名称、製作メーカー及び型番を記入する。
規模・能力	300L SUS	同左 ←	施設の処理能力、材質等を記入する。
着手予定 設置 年月日	令和〇年〇月〇日	令和△年△月△日	年月日 ←
使用開始予定年月日	令和〇年〇月〇日	令和△年△月△日	年月日
参考事項			「排水が数日に1回しか排出しない」や「施設からの廃液は産廃業者に委託し、河川へ排出しない」など参考事項があれば、その旨を記入する。

- 備考 1 汚水又は廃液に係る特定施設の種類の欄には、富山県公害防止条例施行規則別表第1の3に掲げる項番号及び(1)、(2)等の細分があるときはその番号並びに名称を記載すること。
 2 汚水又は廃液に係る特定施設設置の届出にあっては着手予定年月日を、汚水又は廃液に係る特定施設使用の届出にあっては設置年月日を記載すること。
 3 汚水又は廃液に係る特定施設の使用届出にあっては、使用開始予定年月日を記載する必要はないこと。
 4 水質関係有害物質使用特定施設にあっては、参考事項の欄にその旨を記載すること。

汚水又は廃液に係る特定施設の使用の方法
(変更前) (変更後)

変更する項目について、変更前及び変更後の内容を対照させる。
 [左欄] 変更前として、設置届（過去に変更届を提出した場合は、直近の変更届）の内容を転記する。
 [右欄] 変更後として、今回変更する項目についてのみ記入する。

工場又は事業場における施設番号		分液槽-001		同左			
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等	0時~24時 24時間/回 1回/日 31日/月		同左		時~時 時間/回 回/日 日/月	
	季節変動	無		同左			
原材料	種類	〇〇		△△			
	1日の使用量(kg/日)	200		250			
	使用方法	分離		同左			
製品又は中間製品の取出しに際しての廃液の分離方法		蒸留		同左			
		通常	最大	通常	最大	通常	最大
使用水量(m ³ /日)		10	15	15	20		
排水量(m ³ /日)		5	10	10	15		
水質	pH	5.0~8.0	4.0~9.0	4.0~8.0	3.0~9.0		
	BOD(mg/L)	150	200	200	300		
	SS(mg/L)	100	150	150	250		

当該工場又は事業場で当該特定施設を特定するために用いる番号、名称等を記入する。

・季節による使用状況の変動の有無について記入する。
 ・季節変動がある場合はいつ頃の程度変動するか記入する。(例えば、夏季は通常の1.5倍稼働など)

規制基準が設定されている項目を使用又は排出する場合は、原材料に必ず記入すること。(項目については、施行規則 別表第2の3参照)

・特定施設から排出された直後の水質を記入する。
 ・pH、BOD(又はCOD)、SSについては原則記入し、その他の項目や人の健康項目に係るもの(項目については、施行規則 別表第2の3参照)を使用している場合は項目も記入する。

排水口(浸透口)ごとの水量、放流先(浸透先)及び水質	排水口(浸透口)	排水量(m ³ /日)	放流先(浸透口)	水質		
				pH	BOD(mg/L)	SS(mg/L)
	総合排水	4,600	〇〇川	6.3~7.8	10	20

・公共用水域へ排出する際の水質を記入する。
 ・pH、BOD(又はCOD)及びSSについては原則記入する。
 ・人の健康項目及びその他の項目に係るもの(項目については、施行規則 別表第2の3参照)を排出する場合は、その項目も記入する。
 ・規制基準については、施行規則別表第2の3を参照
 ・ND等と記入する場合は「ND(<0.2)」のように数値も記入する。

備考 特定地下浸透水については、()で記載すること。

汚水又は廃液の処理の方法

変更する項目について、変更前及び変更後の内容を対照させる。
 [左欄] 変更前として、設置届（過去に変更届を提出した場合は、直近の変更届）の内容を転記する。
 [右欄] 変更後として、今回変更する項目についてのみ記入する。

		(変更前)	(変更後)	
処理施設の工場又は事業場における施設番号		活性汚泥施設 001	同左 ←	当該工場又は事業場で当該処理施設を特定するために用いる番号、名称等を記入する。
処理に係る汚水又は廃液に係る特定施設の工場又は事業場における施設番号		分液槽-001	同左 ←	当該工場又は事業場で当該特定施設を特定するために用いる番号、名称等を記入する。
処理施設の種別・名称・型式		BOD除去型 活性汚泥処理施設 コンクリートピット	同左 ←	名称、製作メーカー及び型番を記入する。
着手予定設置 ← 年 月 日		令和〇年〇月〇日	令和△年△月△日	年 月 日
使用開始予定 年 月 日		令和〇年〇月〇日	令和△年△月△日	年 月 日
処理施設の構造等	規模	曝気槽 3,200m ³ 分離槽 1,600m ³	同左	
	能力	7,000m ³ /日	同左	
	処理の方式	活性汚泥法	同左	
処理の使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等	0時～24時 24時間/回 1回/日 31日/月	同左	時～ 時 時間/回 回/日 日/月
	季節変動	無	同左 ←	<ul style="list-style-type: none"> 季節による使用状況の変動の有無について記入する。 季節変動がある場合はいつ頃の程度変動するか記入する。(例えば、夏季は通常の1.5倍稼働など)
処理に要する消耗資材	資材名	磷酸 28%NaOH	同左	
	用途	菌の栄養分 pH調整	同左	
	1日の使用量	磷酸 30kg 28%NaOH 15kg	同左	

変更する項目について、変更前及び変更後の内容を対照させる。
 [左欄] 変更前として、設置届（過去に変更届を提出した場合は、直近の変更届）の内容を転記する。
 [右欄] 変更後として、今回変更する項目についてのみ記入する。

		(変更前)				(変更後)			
		処 理 前		処 理 後		処 理 前		処 理 後	
		通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
排 水 量 (m ³ /日)		2,900	3,800	3,000	4,000	3,100	4,400	3,400	4,600
水 質	pH	5.0~8.0	4.0~9.0	6.8~7.3	6.3~7.8	4.0~8.0	3.0~9.0	6.8~7.3	6.3~7.8
	BOD (mg/L)	150	200	5	10	200	300	5	10
	SS (mg/L)	100	150	10	20	150	250	10	20
排 出 先		〇〇川				同左			
残 さ	種 類	余剰汚泥				同左			
	生 成 量	170 t/月				同左			
	処 理 方 法 の 概 要	産廃委託				同左			

・処理する前の水質には、特定施設以外の汚水又は廃液（雨水、生活排水等）も含めたものを記入すること。
 ・pH、BOD（又はCOD）及びSSについては原則記入する。
 ・人の健康項目及びその他の項目に係るもの（項目については、施行規則 別表第2の3参照）を排出する場合は、その項目も記入する。
 ・処理後の水質は、当該施設から施設外へ出る排出水の濃度（排水基準が適用される項目）を実測値や設計値で記入する。（単位：mg/L）
 ・ND等と記入する場合は「ND（<0.2）」のように数値も記入する。
 ・規制基準については、施行規則別表第2の3を参照

次の処理施設や排水河川名等を記入する。また、排出水を下水道に排出している場合は、その旨を記入する。

全量産業廃棄物処理業者等に委託して処理する場合は、その旨を記入する。

備考 1 汚水又は廃液に係る特定施設設置の届出にあつては着手予定年月日を、汚水又は廃液に係る特定施設使用の届出にあつては設置年月日を記載すること。
 2 汚水又は廃液に係る特定施設の使用届出にあつては、使用開始予定年月日を記載する必要はないこと。